

KNIT

北海道ダイバーシティ
研究環境推進ネットワーク
Knit a network for diversity and
inclusion toward innovation

ニュースレター

科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）
（令和元年度～令和6年度）



2021年2月発行

VOL. 02

年初のご挨拶

KNITの活動を開始して2度目の年始を迎えました

昨年は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため、あらゆる計画が変更を余儀なくされる中での活動ではありませんでしたが、これまでの方法や考え方を改めて見直し、新しいことに挑戦する機会とすることができました。

対面を前提としていた会議はオンラインとなり、話したい人と繋がりがやすい方法が身近になったことで、行動に制限がある中でも予定していた事業を実施することができました。

ニュースレターVol.2では、KNITが挑戦した“新しいこと”を含めて、2020年のKNITの活動をお伝えします。



NEWS 1 2020 年度の異分野交流イベントはWEBで！ 異分野 meetup week 2020 開催

研究者が専門領域を越えてコミュニケーションするイベント“異分野meetup week2020”を、2020年11月30日（月）～12月4日（金）の5日間に渡り、オンライン開催しました。

今回は専用WEBサイトでポスターセッションできる仕組みを整備し、開催期間中は24時間いつでもポスターを閲覧でき、出展者へコメントを残したり直接メッセージを送ったりすることができるよう企画しました。ポスターセッション以外にも毎日オンラインセミナーが開かれ、KNIT各機関のオリジナリティあふれる研究紹介やキャリア座談会をお届けしました。

ポスターセッションには計91タイトルのポスターが出展され、オンラインセミナーには延べ約200名の皆様に参加いただきました。改めて、ご参加いただいた皆様に御礼申し上げます。

近年、異分野交流として他学部所属の先生とコミュニケーションするイベントが様々に開催されますが、実は北海道大学附属研究所である電子科学研究所は、約90年前の異分野交流から生まれた研究所とも言えます。電子科学研究所は“超短波研究室”として

始まりましたが、この研究室が開かれたきっかけは、工学部電気科清水義一教授と医学部第一生理学教室宮崎彪之助教授との間に起こった“超短波の医学生理学への応用開拓研究の議”だったそうです。

移動手段やミーティング手段が多様で便利になった今、ひとりが感じている課題をひとつの大学の中だけでなく、多機関や多人数と共有できるようになりました。その課題は、自分から見たら大した課題ではないかもしれないけれど、他者から見たらとても重大な課題かもしれません。はたまた、別の課題へと繋がっていくかもしれません。

今年の異分野meetup week2020でも、ひとりひとりの課題をもとに問題意識や専門性を交換・交流されている様子がコメントから感じられ、未来に活躍する研究所がここから生まれるかもしれない期待に胸が膨らむイベントとなりました。

参考書籍

1) 北海道大学（1980年3月）. 北大百年史部局史 pp.1210.

専用Webサイトによるポスターセッションや、計10回のオンラインセミナー・サロンを開催した。

KNIT a Network! ロールモデル座談会を始めました!

2020年夏より、研究に携わっている方々を紹介する KNIT a Network! ロールモデル座談会をスタートしました。2020年には11回開催し、計15名の方にゲストとしてご協力いただきました。座談会とはいいながらも、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン配信と、オンラインシステムのチャット機能を駆使してお届けをしています。

KNIT a Network! ロールモデル座談会では、研究者だけでなく、博士課程で今経験を積んでいる学生、研究を発展・深化するために並走している産学連携スタッフや URAとして働いている皆様にも登場いただき、どのような経緯で今に至ったのか、今の仕事や研究についてお話を伺いました。今まで直面してきたいろいろな岐路と選択のご経験は多様でありつつも、悩み考えたことの本質はゲストも視聴者の方も共感することがあったように感じています。そして再び前を向く時の解決方法や出した答えは多様であり、自分が設定した到達地点にたどり着くために挑戦したことや折々で出会った方のことなど、一つの正解があるのではなく自分が進んできた道が結果として“正解”と言えるのかもしれないということを教えていただきました。

“knit”という単語には編むという意味の他に人がコトやアイデアに対して強く繋がる意味もあるように、このロールモデル座談会は、ひとりひとりが“KNIT”のもと繋がり、それぞれが過ごしてきた時間が編み合わさる(knit)企画です。

2021年も続けて参りますので、KNITWEBサイトを要チェック! よろしくお願いたします。



編集後記

2020年のKNITの活動をぎゅっとまとめたニュースレターとなりました。こうして1年間の活動を振り返ると多くの方にご協力いただいたことに感謝すると共に、多くの方とお話をする機会がKNITには溢れていることに気が付かされます。ニュースレターの編集作業を共にしているスタッフKと、作業をしながら“こんなこともやったねー”“そういえばこんなこともあったねー”“来年はこうできたらいいねー”と楽しく作業する時間を過ごすことができるのもKNITニュースレターがあるおかげです。(スタッフF)初めての在宅勤務、初めてのオンラインミーティングやウェビナー開催等々、初めてづくしで右往左往した2020年でしたが、こうして写真で振り返ってみると笑顔にたくさん出逢えた1年だったなとあらためて感じました。2021年もKNITの活動を通して皆さんの笑顔に出逢えますよう、がんばって参りたいと思います。(スタッフK)



KNIT ウェブサイト

<https://knit.synfoster.hokudai.ac.jp>

お問合せ

KNIT 事務局

(北海道大学 人材育成本部 ダイバーシティ研究環境推進室)

〒060-0812 札幌市北区北12条西7丁目

北海道大学中央キャンパス総合研究棟1号館1階

TEL 011-706-3625 Email: knit@synfoster.hokudai.ac.jp